

公立大学法人青森公立大学の第 2 期中期目標期間（終了時見込）
業務実績評価について

【評価方法】

「公立大学法人青森公立大学中期目標期間終了時見込評価及び中期目標期間評価実施要領」に基づき、評価を実施。

【項目別評価(大項目別評価)】

法人の自己評価結果及び第 1 回評価委員会における公立大学へのヒアリングを踏まえ、委員が評価理由を明らかにしたうえで、それぞれ 5 段階評価を実施する。

その評価結果については、平均値を四捨五入し、評点数とする。

(ただし、平均 4.5 以上 5 未満については 4 点とする。)

5：中期目標の達成において特筆すべき状況にある。

4：中期目標を達成している。

3：中期目標をおおむね達成している。

2：中期目標の達成においてやや不十分な状況にある。

1：中期目標の達成において著しく不十分であり、重大な改善事項がある。

○評点数一覧

| 中期計画に掲げる大項目 | 評 価 者 | | | | | 平 均 | 評 価 点数(案) |
|---|-------|---|---|---|---|-----|--------------|
| | A | B | C | D | E | | |
| 1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(教育) | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4.0 | 4 |
| 2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(研究) | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4.0 | 4 |
| 3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(地域貢献) | 4 | 4 | 5 | 4 | 4 | 4.2 | 4 |
| 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3.8 | 4 |
| 5 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための計画 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3.8 | 4 |
| 6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4.0 | 4 |
| 7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3.8 | 4 |

○全体評価

| 委員評価 | 業務実績評価書（案） |
|---|---|
| 1 総評 | 1 総評 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・全体的には、教育、研究、地域貢献、業務運営その他の業務のいずれにおいても、中期目標を達成できるものと認められる。 ・外部評価でも高い評価を受けており、高く評価できる。 ・「国内大学のG P Aの算定及び活用に係る実態の把握に関する調査研究」において、特に成果を挙げている大学に選ばれた点、また、大学基準協会による外部認証評価において、全体として「適合」判定を受けた点など、外部からも本学の業務実績が評価されており、中期目標を全体として十分達成できるものと評価する。 | <p>公立大学法人青森公立大学は、教育・研究の一層の推進と活性化を図ることにより、青森市の発展のために必要とされる有為な人材の輩出と、大学が持つ知的財産を市民に還元し、経営経済をはじめとする各分野において、青森市が掲げる施策の推進に貢献し、市民の生活及び文化の向上に寄与していくことを使命としている。 <第2期中期目標 前文からの抜粋></p> <p>第2期中期目標期間（平成27年度から令和2年度まで）においては、</p> <p>教育研究の質の向上に関する多くの取組が実施されていること、地域貢献においては、高大連携、地域の大学間連携に積極的に取り組むなど、地域を重視した活動が行われており、その取組内容が、認証評価機関による評価において、学生支援及び社会連携・社会貢献に関する項目が最上位のS評定を受けたことは高く評価できる。</p> <p>就職率96.0%を毎年度維持するという目標値に対して、平成27年度から、毎年度上回っており、高い実績をあげていることは評価できる。</p> <p>文部科学省が行った「国内大学のG P A（成績評価平均値）算定及び活用に係る実態の把握に関する調査研究」において、調査対象の国内757大学のうち、特に成果を挙げている7大学として公立大学では唯一選ばれたことは、高く評価できる。</p> <p>今後も、産学官の連携を一層推進することにより、青森市が掲げる施策の推進に貢献し、市民生活及び文化の向上への寄与に対し、より大きな成果を期待する。</p> <p>よって、中期計画については、総じて中期計画に定めた事項を実施できる見込であると判断され、中期目標を達成していると評価できる。</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書（案） |
|--|--|
| 2 業務の実施状況 | 2 業務の実施状況 |
| <p>1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）</p> <p>2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）</p> <p>3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献）</p> <p>4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</p> <p>5 経営・財務内容の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</p> <p>6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置</p> <p>7 その他業務運営に関する目標を達成するための措置</p> | <p>教育研究等の質の向上（教育、研究及び地域貢献）に関しては、アクティブラーニング室における授業が、毎年度活用実績が増加しており、学生の主体的・能動的学習が実施されている。</p> <p>学生の受入に関して、首都圏でのサテライトオープンキャンパスの実施、模擬講義や学生等によるキャンパスツアーなどの実施などにより、入学定員の3倍程度の志願者が確保されている。</p> <p>就職率96.0%を毎年度維持するという目標値に対して、平成27年度から、毎年度96%以上の高い水準が維持されている。</p> <p>人事の適正化に関して、職員の能力評価及び業績評価の試行が実施されている。</p> <p>経営・財務内容の改善及び効率化に関しては、外部研究費資金やその他の自己収入の獲得に向けた取組として、受験生確保のための高校訪問、オープンキャンパスの実施ほか、様々な媒体による情報発信が行われている。</p> <p>自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供並びにその他の業務運営に関しては、安全管理に関して、避難訓練、AED講習会の実施などの防災対策に加え、不審者への対応に関する講習会などの防犯対策の強化が図られている。</p> <p>また、まちなかラボの事業検証を行い、体制及び機能整理、新規事業の実施を行うとともに、国際芸術センター青森において、小学生を対象とした創作体験活動を実施するほか、定期的に展覧会やワークショップを開催するなど、市民の施設利用の促進が図られており、その他の事項についても着実に実施されている。</p> <p>※公立大学法人青森公立大学 第2期中期目標期間（修了時見込）業務実績報告書より記載</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書（案） |
|---|--|
| <p>3 組織、業務運営等に係る改善事項等</p> | <p>3 組織、業務運営等に係る改善事項等</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・教員の人事評価及び大学院改革については、第2期中期計画期間最終年度の次年度において確実に成果を出せるよう取り組まれることを求める。 ・大学院改革と人事評価については、検討段階が長引いており一層の取組を求める。外部資金については引き続き獲得のための努力が望ましい。 ・人事評価制度の導入については、制度の特性上一般的に制度導入まで相応の時間を要する場合が多いため、進捗状況のきめ細かいチェックを行いながら、早期実施に努力する必要があるものとする。 | <p>大学院課程については、大学院改革を行っていくとしたところであるが、今後はその成果が現れるよう取組を行うことを求める。</p> <p>職員を対象とする業績評価を試行したところであるが、その試行結果を踏まえて早期に本格的に実施することを求める。教員を対象とする人事評価の試行が実施されていないことから、一層の検討と取組を求める。</p> <p>受託研究・受託事業等による外部研究資金については、引続き獲得に努めることを求める。</p> |

○項目別評価

| 委員評価 | 業務実績評価書(案) |
|--|--|
| <p>1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）</p> | <p>1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）</p> |
| <p><評価の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の受入について、首都圏でのサテライトオープンキャンパスの実施、模擬講義や学生等によるキャンパスツアーなどの実施などにより、入学定員の3倍程度の志願者という目標を概ね達成したことは評価できる。 ・ 高校生等に対するリクルート活動を適切に実施して、大学の入学定員の3倍程度の受験生を安定的に確保し、その中から大学のアドミッションポリシーに合致した学生を定員程度に入学させている。 ・ 外部評価で高い評価を受けている項目である。業務の実績は具体的かつ多岐にわたっており評価できる。大学院改革については引き続き取り組みを求める。 ・ GPAに基づく成績評価を徹底しており、特に、文部科学省が行った「国内大学のGPAの算定及び活用に係る実態把握に関する調査研究」において特に成果を挙げている7大学のうちの一つとして評価されたことは、評価できる。 ・ 文部科学省が行ったGPAの活用等の調査において、調査対象の国内757大学のうち、特に成果を挙げている大学に選ばれ、高く評価できる。 ・ キャリア支援として、就職率を96.0%毎年度維持するという目標値に対して、平成27年度から、毎年度上回っており、高い実績をあげていることは評価できる。 ・ 学生の就職活動を様々に支援することで、高い就職率を維持している。 ・ グローバル化への対応として、多くの学生が海外での教育の機会の充実が図られるよう取組を期待する。 ・ 海外留学制度は整備されているが、参加学生が少なく、今後さらに注力していく必要がある。 | <p>学生の受入に関して、首都圏でのサテライトオープンキャンパスの実施、模擬講義や学生等によるキャンパスツアーなどの実施などにより、入学定員の3倍程度の志願者という目標を概ね達成したことは評価できる。</p> <p>文部科学省が行った「国内大学のGPA（成績評価平均値）算定及び活用に係る実態の把握に関する調査研究」において、調査対象の国内757大学のうち、特に成果を挙げている7大学として公立大学では唯一選ばれたことは、高く評価できる。</p> <p>キャリア支援として、就職率を96.0%毎年度維持するという目標値に対して、平成27年度98.9%、平成28年度99.0%、平成29年度99.3%、平成30年度99.7%と上回っており、高い実績をあげていることは評価できる。</p> <p>グローバル化への対応に関して、語学研修や留学制度等、多くの学生が海外での教育の機会の充実が図られるよう取組を期待する。</p> <p>その他の事項についても、中期計画に定めた事項を着実に実施していると認められることから、全体として、中期目標を達成していると評価できる。</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書(案) |
|---|---|
| 2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究） | 2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究） |
| <p><評価の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に地域課題・国際課題の研究に取り組むため、積極的に地域連携センタープロジェクト事業を増加させたことや戦略的研究助成事業の見直し及び地域貢献活動推進制度を創設し、研究活動を促進していることは評価できる。 ・地域連携センターの活動は地域課題の解決に向けた契機となり、問題解決を推進していく力となっている。 ・継続的に公開講座及び海外研究者を招へいた研究会を開催し、実施回数が増加しており、評価できる。 ・継続的な地域課題等への研究の取組みや公開講座の開催回数、受講者数の増加など、着実な業務実績の進捗を見せており、評価できる。 ・中期計画は順調に進捗していると考える。 | <p>地域課題・国際課題の研究に取り組むため、地域連携センタープロジェクト事業を増加させたことや戦略的研究助成事業の見直し及び地域貢献活動推進制度を創設し、研究活動を促進していることは評価できる。</p> <p>公開講座及び海外研究者を招へいた研究会の開催回数、受講者数の増加など、着実に業務実績の進捗していることは評価できる。</p> <p>その他の事項についても、中期計画に定めた事項を着実に実施していると認められることから、全体として、中期目標を達成していると評価できる。</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書(案) |
|---|--|
| 3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献） | 3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（地域貢献） |
| <p><評価の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な公開講座の開催、受託研究・受託事業の受入れを行うとともに、メディアラボ、スタートアップラボの設置、地域連携研究員への新たな研究費配分は評価できる。 ・地域の企業・団体との連携協定締結の増加、協定に基づく地域貢献に係る新たな事業の実施は評価できる。 ・県内市町村との連携協定の締結、青森まるっとよいどころ祭りでの大学研究成果の活用等は評価できる。 ・外部評価で高い評価を受けている項目である。業務実績も具体的かつ多岐にわたっており、更なる地域貢献が期待できる。 ・一連の地域連携に係る研究の実施やその成果の積極的な地域への還元など、「社会連携・社会貢献」の分野で、外部認証評価においてS評価を受けたことは高く評価できる。 | <p>地域連携の強化に関して、地域貢献活動として、学生が主体となり実施している「まるっとよいどころ祭り」など、県内市町村とも連携を図りながら、地域課題の解決に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>その他の事項についても、中期計画に定めた事項を着実に実施していると認められることから、全体として、中期目標を達成していると評価できる。</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書(案) |
|--|--|
| 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 | 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 |
| <p><評価の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで未実施であった事務職職員の業績評価を青森市の制度に準拠して試行したことは評価できるが、その試行結果を踏まえて、速やかに本実施するよう求める。 ・教員の人事評価については、未実施であり、引き続きの検討とされているが、第2期中期計画期間中の試行まであと1年と迫っており、確実に実施できるよう求める。 ・中期計画の進捗は順調と考える。人事評価については引き続き取り組みを求める。 ・人事評価制度の導入については、進捗が遅く、中期目標達成のため、早期の試行実施を求める。 | <p>人事の適正化に関して、職員の業績評価を青森市の制度に準拠して試行したことは評価できるが、その試行結果を踏まえて、早期に本格的に実施するよう求める。</p> <p>教員の人事評価については、第2期中期計画期間内の試行の実施に向け、評価基準や評価項目、評価手順等について検討段階にとどまっており、早期に試行実施されるよう求める。</p> <p>その他の事項についても、中期計画に定めた事項を着実に実施していると認められることから、全体として、中期目標を達成していると評価できる。</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書(案) |
|---|--|
| 5 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 | 5 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 |
| <p><評価の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学運営において、財源としての外部資金の獲得増、支出抑制としての効率的な予算執行が重要であり、種々取り組まれていることは認められるが、より一層の取組みを期待する。 ・予算編成時においては事業の見直し・スクラップアンドビルトを徹底すると共に、毎年度効率化係数1%を実施するなど、経費節減に努力している。 ・中期計画の進捗は順調と考える。外部資金の獲得については引き続き努力を求める。 ・新たなシステム導入により、事務処理の効率化・迅速化、財務に関するその他事務改善が行われ、評価される。 | <p>外部研究資金その他の自己収入の増加に関して、入学志願者増加による検定料の増加、受託研究・受託事業等による外部研究資金の獲得や様々な取組の成果として収入増加に結びついていることや、経費抑制への取組は評価できるが、引続き外部研究資金の獲得に努めることを求める。</p> <p>その他の事項についても、中期計画に定めた事項を着実に実施していると認められることから、全体として、中期目標を達成していると評価できる。</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書(案) |
|---|--|
| 6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置 | 6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置 |
| <p><評価の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学基準協会の認証評価において、「学生支援」、「社会連携・社会貢献」が最上位のS評価を受けたことは評価できる。 ・中期計画の進捗は順調と考える。 ・外部評価において、2項目でS評価を受けるなど、全体で「適合」評価を受けたことは高く評価される。 | <p>評価の充実に関して、認証評価機関による評価において、学生支援及び社会連携・社会貢献に関する項目が最上位のS評価を受けたことは評価できる。</p> <p>その他の事項についても、中期計画に定めた事項を着実に実施していると認められることから、全体として、中期目標を達成していると評価できる。</p> |

| 委員評価 | 業務実績評価書(案) |
|---|---|
| 7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 | 7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 |
| <p><評価の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかラボの事業検証を行い、体制及び機能整理、新規事業の実施を行うとともに、国際芸術センター青森において市民参加事業の増加を図ったことは評価できる。 ・まちなかラボの体制・機能整理、国際芸術センター青森における市民参加事業の増加など評価できる。 ・防災対策として消防訓練の実施、AED講習やさすまた講習会の実施など、継続的に行われており、評価できる。今後も、引き続き、取り組まれない。 ・中期計画の進捗は順調と考える。 | <p>施設設備の整備・活用等に関して、まちなかラボの事業検証を行い、体制及び機能整理、新規事業の実施を行うとともに、国際芸術センター青森において市民参加事業の増加を図ったことは評価できる。</p> <p>安全管理に関して、避難訓練、AED講習会の実施などの防災対策に加え、不審者への対応に関する講習会などの防犯対策の強化が図られていることは評価できる。</p> <p>その他の事項についても、中期計画に定めた事項を着実に実施していると認められることから、全体として、中期目標を達成していると評価できる。</p> |